

士 午後

令和 7 年測量士試験問題集

選択〔No. 4〕

問 A. M 市では、2019 年に市全域を対象に整備した地図情報レベル 25000 の数値地形図データ（基図データ）を、最新の状況に適合するように地図編集により修正することとした。

表 4－1 は、近年、M 市が公共測量により作成した測量成果の一覧である。資料番号 2 ～ 8 のうち編集資料として適切なものを用いて、基図データの地形、地物等のデータを更新するものとする。次の各問に答えよ。

ただし、各測量成果はその作成時点の状況が全て反映されているものとする。

表 4－1

資料番号	地図情報レベル	測量成果名	測量年月	作成範囲
1（基図）	25000	数値地形図データ	2019 年 8 月	M 市の全域
2	5000	写真地図データ	2017 年 5 月	M 市の一部
3	50000	管内図データ	2021 年 10 月	M 市の全域
4	10000	数値地形図データ	2022 年 2 月	M 市の一部
5	5000	都市計画図データ	2024 年 9 月	M 市の一部
6	25000	数値地形図データ	2014 年 7 月	M 市の全域
7	10000	都市計画図データ	2022 年 12 月	M 市の一部
8	5000	写真地図データ	2023 年 6 月	M 市の一部

〈次のページに続く〉

問 A-2. 表 4-1 にある測量成果のうち、基図データの更新に一部でも使用できるものはどれか。資料番号 2 ～ 8 のうち該当する資料番号を全て解答欄に記せ。また、それらを使用できると判断した理由を 45 字以内で解答欄に記せ。

問 A-2 問 A-9 で選択した測量成果などの順番で基図データの更新に反映させるのが適